

令和6年度 第2回学校運営協議会 次第

浜松市立三方原中学校

司会 教頭

※ 開催要件確認

1 会長挨拶

2 校長挨拶

3 議長の選出

4 前回会議録の確認

5 熟議(議長)

(1) 「総合的な学習の時間」における体験学習について (1学年主任)

(2) 教育活動の経過報告 (生徒指導主事)

(3) 部活動の地域クラブ化について (校長)

6 協働センター所長より 感想、意見

7 報告

・第2回学校支援コーディネーター研修会報告

8 連絡

・次回以降の開催日時・内容について

回	期日	時間	内容
第3回	2月18日(火)	14:00～15:30	・令和6年度学校関係者評価について ・学校運営協議会の自己評価について ・令和7年度学校運営の基本方針について

閉会

三方原中学校 学校運営協議会 委員一覧

三方原中後援会顧問・学校運営協議会代表

地区自治連合会長・学校運営協議会委員

三方原中 PTA 会長・学校運営協議会委員

三方原中 PTA 副会長・学校運営協議会委員

三方原中 PTA 副会長・学校運営協議会委員

学校支援コーディネーター・学校運営協議会委員

三方原中 PTA 副会長

三方原中 PTA 副会長

中川 秀三

鈴木 登志郎

木下 直樹

佐藤 京子

岡本 秀人

中村 雅俊

杉山 利奈

細川 銀河

オブザーバー 三方原協働センター所長

澤木 克彦

浜松市教育委員会

牧野 知子

三方原中学校 CS担当職員

校長

佐藤 安彦

教頭

岡田 政之

生徒指導主事

山岡 文彦

1 学年主任

西川 晃司

CS担当

大津 幸三郎

CSディレクター

外山 直世



みかた

三方原中学校だより
令和6年度
第15号
(R06.10.31)

☆2年生 未来授業・職業講話で成長！☆

2年生は10月22・23日の2日間、キャリア教育として職業学習を行いました。1日目は未来学校から講師をお迎えして未来授業を行いました。理・美容や障害福祉・作業療法士、ITエンジニア、不動産業まで多岐にわたる20名の講師の中から生徒は2つの講座を選び、社会人としての基本的な姿勢を学び、将来の自立に向けてのきっかけになったと思います。



未来につながるとても貴重なお話を聞かせていただき、ありがとうございました。車に関して、あそこまで踏み込んだお話を聞いたのは初めてで、普段の授業からは感じ取ることのできないような別の興味を感じることができました。誰か人のために仕事ができるというのは、必要不可欠であって、尊敬できるものだと思います。これからも車を好きでありながら仕事をされ、尊敬されるような存在であって欲しいと思っています。 4組 上村 海翔

僕は、この未来授業の動物の話を通して、目標としている仕事の他にもこんな仕事があってこんなことができるよという、普段聞いたり考えたりしないようなことを知ることができました。先生がお話になられた動物の話では、感じたことや楽しかったことがたくさんありました。ぜひまた、動物についての話や仕事についてなどを聞きたいです。ありがとうございました。 3組 大戸 雄心

2日目は、宮崎中央（日本講演）新聞中部支局長の山本孝弘様を講師にお迎えして、職業講話を行いました。1日目の未来授業を受けて、「仕事を楽しむ大人になるために～どんな仕事にも「本質」が隠れている～」というテーマで御自身の豊富な職業経験等をもとに、熱く語っていただきました。この2日間の職業学習を通して、職業観や勤労観を身に付け自らの生き方を考える機会になったと思います。この有意義な経験を今後の学校生活や人生に生かしていくことを期待しています。



今回の講演会を通して、仕事の本質や、まじめに働くと誰かに認めてもらえたりすることが分かりました。これからは、まじめに生きて誰かに認められて、この日本に貢献できるようにがんばりたいと思いました。この講話を今後に生かしていきたいです。

7組 城間 琉一

今回の講演会で「向き不向きより、前向き」という言葉が特に印象に残りました。私は前期特に希望していない給食班に入っていましたが、給食班の仕事は思いの外、楽しかったです。その時、何となく感じていた気持ちがはっきりと言葉になったような気がして、改めて「前向き」は大切だと思いました。将来、どんな職業に就くことになるか分かりませんが、前向きに一生懸命働きたいと思います。

1組 山田 真央美

☆8組 職場体験を頑張りました！☆

8組は10月23日、キャリア教育として職場体験学習を行いました。昨年度に続いて、「おかしやじろう」で、実際に働くことを体験しました。この職場体験を通して、就労の見通しをもち、自らの生き方を考える機会になったと思います。この有意義な経験を今後の学校生活や人生に生かしていくことを期待しています。保護者の皆様におかれましては、いろいろな面で御協力をいただき、ありがとうございました。



お忙しい中、職場体験学習をさせていただき、ありがとうございます。清掃や作業、買い物学習で分からないこともあったけど、その時、優しく教えてくれて嬉しかったです。ありがとうございました。

3年 川合 愛良

職場体験を通して、仕事の大変さを知ることができました。特に、やりがいを感じたのはレジ打ちです。私は将来、接客業に就きたいと考えているため、貴重な体験ができ、嬉しかったです。本当にありがとうございました。

3年 月岡 汰牙

☆☆1年生 地域の良さを再発見しました！！☆☆

1年生は10月22日・23日の2日間、キャリア教育として地域学習を行いました。1日目は、歩いて地域の13の事業所を訪問し見学しました。地域の産業を支えている事業所の方から直接お話を聴き、三方原地域の良さを知ることができました。2日目は学校で、1日目の活動を振り返り、1年生の総合的な学習のテーマである「地域に学ぶ」に沿った課題づくりを行いました。この地域学習を今後の学校生活や人生に生かしていくことを期待しています。保護者の皆様におかれましては、いろいろな面で御協力をいただきありがとうございました。



先日は、施設内の見学や貴重なお話をしてくださり、ありがとうございます。私は、この地域学習を通して、JAとぴあ浜松の方々とは地域の方々と一体になって地域を支えていることが分かりました。見学の際に、お客さんとスタッフの方が親しそうに話しているところから、信頼されていることが伝わってきました。私は、この経験から、地域に住む一員として地域を支えたいと思いました。

1組 八木 美怜

先日は、僕達に大切な時間を使っただき、ありがとうございました。僕は光緑園さんが場所を浜松にした理由を聞いて、浜松の日照時間が長いことや赤土がお茶づくりに適していることを学びました。また、この経験からお茶も生きているということを知り、お茶を大切に扱おうと考えました。本当にありがとうございました。

6組 鈴木 煌太



みかた

三方原中学校だより
令和6年度
第16号
(R06.11.7)

☆☆3年生 福祉体験で「更にONE UP」!!☆☆

3年生は10月22日・23日の2日間、福祉体験学習を行いました。学年を2つのグループに分けて、15の福祉施設での体験活動と学校での車椅子・シニア・アイマスク体験を交互に体験しました。2つの活動を通して、福祉社会への理解を深め自らの生き方を考える大変有意義な学習になったと思います。この経験を今後の学校生活や人生に生かしていくことを期待しています。保護者の皆様におかれましては、いろいろな面で御協力をいただき、ありがとうございました。

私は今回の福祉体験を通して、福祉とは何なのか、福祉は障がいのある人だけでなく障がいの無い方も幸せを感じることができる社会を目指していることを知ることができました。また様々な体験を通して、少しですが高齢者や障がい者が生活する中でどれだけ大変なのか、理解することができました。今回の福祉体験を糧に、これから自分にできることをしていきたいと思います。

3年6組 齊藤 帆香

この度は、お忙しい中、僕たちに福祉について教えてください、ありがとうございました。僕は、今回の体験で高齢者の方はいつも困っているという先入観を変えることができました。高齢者の方は何もできないという訳ではないのに、そう思ってしまうしていました。これからは助けが必要かどうか聞いてみたり、本当に困っているのかよく見て判断したりしたいです。この体験活動を通して、誰かに寄り添ってもらうありがたさを知ることができました。自分も誰かに寄り添えたらと思います。

3年4組 齊藤 勝惺

今回の福祉体験学習では、大切なことを学ばせていただきました。車椅子体験では、自分でコントロールできないことの怖さと車椅子に乗った時のスピード感を体感することができました。また、入居者の方とのお話では、耳の遠い方や体が弱く車椅子でしか動けない方、認知症等で会話がしにくい方等、様々な方がいらっしゃる中で、一人一人に優しく接する職員の方の大変さを知ることができました。今回の体験を通して、今を健康に生きられる嬉しさと、お年寄りや障がいを持った方を助ける方の大切さを再認識することができました。

3年1組 竹田 洲悠



令和6年度 三方原中学校 教育活動の経過報告

学校教育目標 高い知力 豊かな心 丈夫なからだ

①学校行事（体育大会）

☆☆熱く燃える戦いが繰り広げられました！☆☆

「宣戦布告～熱く燃える戦いを～」のスローガンのもと、体育大会が10月10日に行われました。3年生を中心とした生徒の願いが通じ、秋晴れの青空のもと、三中生の躍動した姿が見られました。直前の2週間は雨天が多く限られた準備期間でしたが、体育大会実行委員や応援団、生徒会、3年生を中心にして、計画的に準備をしてきた成果が表れ、感動あふれる体育大会となりました。



②学校行事（三翔発表会）

☆☆天歌夢奏～轟け絆とハーモニー～！！☆☆

本年度の三翔発表会が、3年連続でサーラ音楽ホールで開催されました。10月10日の体育大会から実質的に約2週間後の開催であり練習も限られていましたが、実行委員を中心にして意欲的に練習に取り組みどの学級も素晴らしい合唱に仕上げることができたと思います。特に3年生の合唱は素晴らしく、曲紹介から歌い終わるまでの全てに熱い思いが込められていたと思います。入賞できず悔しい思いの生徒もいると思いますが、各学級集団のまとまりや良さが感じられる素晴らしい合唱を作りあげることができました。



③ボランティア活動

☆☆ボランティアで成長！！☆☆

夏休みに自主的にボランティア活動に参加した生徒が大勢います。また、その他の期間にも様々なボランティアや地域での活動に積極的に参加している生徒がいます。進路選択を含めてキャリア教育としても、とても貴重な体験になったと思います。

④部活動

☆☆女子卓球部 2年連続全国大会出場☆☆

女子卓球部は、2年連続で全国中学校卓球大会に東海地区代表（3位）として出場しました。浜松地区（2位）、静岡県（2位）、そして東海地区と大会は約2か月に及びましたが、8月23日から新潟県で開催された全国大会に出場し、チームワークの良さを生かして最後まで全力で戦いました。昨年に続いて全国の舞台で「三中プライド」を示してくれたと思います。



☆☆陸上競技部 全国大会出場☆☆

陸上競技部の大石玲央選手は、男子砲丸投で標準記録を突破して全国中学校陸上競技大会に東海地区代表（1位）として出場しました。西部地区（1位）、静岡県（1位）、そして東海地区と大会は約2か月に及びましたが、8月17日から福井県で開催された全国大会に出場し全力を尽くしました。



☆☆吹奏楽部 東海大会で銀賞☆☆

吹奏楽部は、8月24日に三重県文化会館大ホールで行われた第79回東海吹奏楽コンクール（中学生A部門）に出場しました。西部地区（1位）、静岡県（県知事賞・朝日新聞社賞、1位）と素晴らしい成績を収めて東海大会に出場し、実力校と競う会う中で、銀賞に輝きました。



⑤『夢』講演会

☆☆いぬじゅん氏「はごろも『夢』講演会」開催☆☆

6月28日に、浜松市在住のケアマネ作家のいぬじゅん氏を講師にお迎えして、「はごろも『夢』講演会」を実施しました。「僕たちは選択しながら生きている」をテーマにいぬじゅん氏が小説家になるまでの道のりや、自分が住んでいる地域に貢献しながら生きていくことを中心に、分かりやすく、そして優しく語り掛けるように話をしてくださいました。ユーモアを交えて話をしてくださり、リモートではありましたが、生徒は集中して話を聞くことができました。



平日 ◎平日の学校部活動は継続

学校部活動

【位置付け】学校教育の一環

指導者	教員・部活動指導員 ※外部指導者の参加は可能
場所	在籍する学校及び近隣施設
費用	用具・交通費等の実費
補償	災害共済給付

○学校部活動として大会に参加することは可能

その学校の生徒が参加



休日

◎休日は「地域クラブ活動」へ移行

(体制が整わない場合は、「部活動指導員による学校部活動」を経て地域クラブ活動へ移行)

地域クラブ活動

【位置付け】社会教育の一環

運営団体
実施主体

中学校地域クラブ、スポーツ協会加盟団体、
NPO法人、吹奏楽連盟加盟団体、
総合型地域スポーツ・文化クラブ、
民間事業者 等

指導者

地域住民、指導を希望する教員（兼職兼業等）、
運営団体・実施主体が派遣する指導者 等

場所

学校施設、公共のスポーツ・文化施設、社会教育施設、
地域団体・民間事業者等が有する施設 等

費用

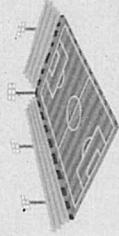
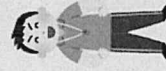
会費、用具代、交通費 等

補償

各種保険 等

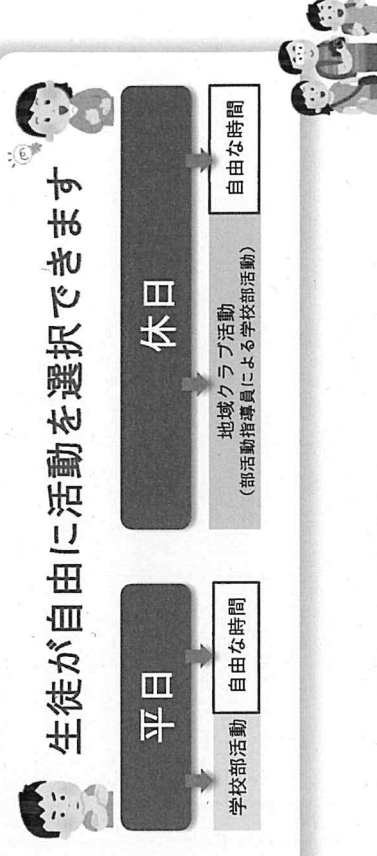


どの学校の生徒
でも参加可能



【地域クラブ活動の基本理念】浜松市は、生徒の豊かなスポーツ・文化芸術活動の実現(持続可能な活動環境の構築)を目指します。

生徒が自由に活動を選択できます



学校部活動



その学校の生徒が参加

指導者	部活動指導員 ※外部指導者の参加は可能
場所	在籍する学校及び近隣施設
費用	用具・交通費等の実費
補償	災害共済給付

○部活動指導員は、単独の指導・引率が可能な市の会計年度任用職員

中学校は、学校運営協議会等で「休日の部活動の地域移行のあり方」について継続的に協議する。



浜松市
中学校部活動
ガイドライン



浜松市
スポーツ・文化庁
ガイドライン